

数学

1 教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。

2 年間計画

前 期		後 期	
月	内 容	月	内 容
4	1 章. 式の計算	10	4 章. 平行と合同
	式の計算		説明のしくみ 平行線と角
5	式の計算	11	合同な図形
	文字式の利用		
	2 章. 連立方程式		
	連立方程式とその解き方		後期中間テスト
6	連立方程式とその解き方	12	5 章. 三角形と四角形
	連立方程式の利用		三角形
	前期中間テスト		平行四辺形
7	連立方程式の利用	1	平行四辺形
	3 章. 1 次関数		6 章. 確率
	1 次関数		確率
8	1 次関数	2	確率による説明
	1 次関数の性質と調べ方		7 章. データの比較
			四分位範囲と箱ひげ図 後期期末テスト
9	2 元 1 次方程式と 1 次関数	3	四分位範囲と箱ひげ図
	1 次関数の利用		
	前期期末テスト		1 年間のまとめ

※定期テストの他に、「小テスト」「単元テスト」や各学年で設定される「学力テスト」があります。

3 評価の観点（目標）と方法

●**知識・技能**：数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。

●**思考・判断・表現**：数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

●**主体的に学習に取り組む態度**：数学的活動の楽しさや数学のよさに気づいて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。

評価の観点	方法（評価の資料となるもの）
知識・技能	テスト、まとめプリントなど
思考・判断・表現	テスト、授業中の発言やグループでの話し合いなど
主体的に学習に取り組もうとする態度	粘り強く考える姿勢、問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度、ノートやワークの提出など

4 授業について

●必ず使う道具 ⇒ 教科書、ノート、ワーク、ファイル【4点セット】

●時々つかう道具

- ・テストの解きなおし用ノート（弱点克服ノート）：昨年のものであれば、それを使ってください。無い場合は1冊準備してください。
- ・コンパス：使うときには早めに連絡しますが、準備しておいてください。

●授業中に大事なこと

①分からないときは「分かりません」と言おう！分かったフリをしても仕方がない。

②数学が得意な人は、積極的に（数学の苦手な人に）教えよう！人に教えることで、考えが整理され理解が深まります。

③数学が苦手な人は（得意な人に）「教えて」と言おう！お互いに助け合っていきましょう。

④授業中は、メリハリをつけよう！盛り上がるときは、みんなで盛り上がろう。ただし、説明を聞くときや、真剣に問題に取り組むときは静かに取り組もう。

⑤間違えることは恥ずかしくない！**どんどん間違えよう！**間違えることで「何が悪かったのか（原因）」が分かり「こうすればいいんだ（対策）」を知ることができます。間違えてもいいので、どんどん問題にチャレンジしてください。もちろん、間違えた人を馬鹿にすることはダメです。クラスのみみんなで間違えながら学んでいきましょう。

5 連絡

①ノートについて：授業用ノートをとときどき集めます。普段から、黒板に書いたこと以外のことをメモする（例：先生が言った大事な言葉、‘分からないから後で調べよう！質問しよう！’と思ったポイントなど）工夫をしているとノートが参考書代わりになるので、テスト前に便利です。ぜひ、やってみてください。

②思考力を問う問題（なぜそうなるのかを自分なりに考え、説明を加えながら解答していく問題）をテストやレポートの課題として出します。少しでも書くことを意識して続けてみてください。サポートしていきますので、一緒に頑張っていきましょう。